

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・確かに景気は悪いが、企画に工夫を凝らせば、客の流れを十分につかめる。
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・客の買上点数は減っているが、おせち等加工度の高いものについては、客は節約することなく買っている。利便性や健康というキーワードにかかわるものについては金を出している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・売上は前年より悪いが、客数は伸びている。
		家電量販店（経 営者）	お客様の様子	・客の積極的な購買が目につく。
		家電量販店（企 画担当）	お客様の様子	・暖冬で季節商品の売上は悪いが、薄型テレビやDVDがそれをカバーしている。
		その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（統括）	単価の動き	・5,000円以上のワックス掛けや高額のパリマー加工等、ガソリン以外の購入が増えている。
変わらない		商店街（代表 者）	単価の動き	・単価の安いものが多く出ている。数量はかなり出るが、金額は上がらない。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・暖冬の影響で防寒着等の売行きがあまり芳しくなかった。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	単価の動き	・台風等の影響で野菜の高値が続き、売上自体は上がった。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・カレンダー要因や気温の変化により、後半は持ち直したものの依然として苦戦している。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・気温は高めであったが、プロパー商品と店頭売上が前年を上回った。一方、店外催事や店頭外の売上は前年を下回った。ギフトは、買上単価の減少はみられないが、今年中止する等、贈答先を絞り込む傾向が続いている。大型催事でも慎重な購買傾向は変わらない。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・買上単価はやや下がっているが、客数自体は前年から変化していない。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・暖冬の影響で冬物商戦は苦戦した。月後半に寒さが戻ってきたが、前年に比べると売上は減少した。お歳暮商戦の売上は前年に比べ若干減少した。
		百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・防寒着やお歳暮、クリスマス、正月関連商品等の季節物商材すべてにおいて、購買のスタートが遅く、直前での購買が多くなってきている。ここ数年に比べ、早期に購買する客が大きく減っている。かなり吟味して買うという状況で、消費に対して消極的な姿勢が目立つ。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・お歳暮の客単価と届け先件数の減少がみられる。
		百貨店（業務担 当）	お客様の様子	・客の購買に対する姿勢はより慎重になっている。天候等の問題もあるが、単品買いが多く、ギフトの販売も低下している。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・今月は上中旬と気温が高く、衣料品を中心として動きが鈍かった。食料品ではお歳暮商戦がかなり苦戦しており、この2つがかなり月間売上を下げている。下旬になって若干冷え込み、売上も伸びてきたが、前年比96.5%となっている。
		百貨店（営業企 画担当）	販売量の動き	・大型量販店やアウトレットモール、福岡天神地区の新店オープン等の影響が一段落し、客数は前年実績を上回った。回復の兆しはあるものの、お歳暮等で客単価が減少しており、販売量の拡大が期待できない。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・暖冬の影響で冬物衣料品の動きが鈍く、前年比80%程度で推移している。ただしギフト関連は、割引をすればかなり売上は上がっている。
		スーパー（経 理担当）	販売量の動き	・改装や競合店の影響を除くと、ほぼ前年実績を維持している。
		コンビニ（エ リア担当）	お客様の様子	・年賀状のまとめ買いやクリスマスケーキ等、高単価商品の定価販売の調子が悪い。ケーキ等は半値にすると売れる状況であり、消費者は価格に敏感である。

	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・お歳暮やクリスマスケーキ等の季節商品は前年並みであったが、全体的に高単価商品の売行きが悪く、景気が回復しているとは思えない。ケーキ以外のクリスマス商品の売行きも前年実績を下回っている。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・12月は来店客数も少し良いが、景気が上向いているかどうかは判断できない。
	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・ボーナス時期にもかかわらず、客足は鈍い。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の仕入価格は落ち着いてきている。小売販売については少し減少基調に変わりつつあるものの、販売量は前年並みである。また、灯油の小売価格は前年に比べ高いが、寒くなるにつれて順調に売れている。ただ、暖冬で12月前半の販売が芳しくなかった。客からは、衣料品や暖房器具は、寒くなるのが遅かったので我慢しようとの声が聞かれた。
	その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	販売量の動き	・年末商戦は本物の景気浮揚にはならず、一過性のものでしかない。
	高級レストラン（専務）	販売量の動き	・前月までは県外客の流入が多かったが、今月に入ると動きが止まってしまった。市内に住む客だけの消費では全然盛り上がらない。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・忘年会の予約や来店客数は前年並みであったが、一般客は伸びなかった。
	その他飲食〔居酒屋〕（店長）	お客様の様子	・今年は天災等様々な事情で客の気持ちがとても暗く、皆で酒を飲むような気分にならないようだ。
	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊客・婚礼予約件数が伸び悩んでいる。特に宿泊客数の減少が顕著である。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・忘年会を含めた主力の一般宴会部門が、件数、単価ともに前年並みの実績となりそうである。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・クリスマスであっても、以前のように満室になることがなかった。年末年始の予約も振るわない。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・冬休み、年末年始と旅行のシーズンであったが、海外旅行、国内旅行とも前年と変わらず、横ばいであった。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・年末年始の日並びが悪かったことに加え、暖冬、雪不足等により、海外旅行やスキーツアーに影響が出た。国内旅行も急激には増えていない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の客が少なく、夜は夜中に客がどっと流れるため、今一売上に伸びがない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・年末なのに忘年会の動きが全然ない。金土は時間帯によって少し忙しいという程度で、全体的にはあまり客が動かなかった。客からは、今年はタクシーがたくさん余っていて、どれにでも乗れるから安心だという声が聞かれた。
	タクシー会社（営業担当）	それ以外	・今月は日韓首脳会談開催のお陰で少しは良かったが、その他の日についてはいつもと変わらない。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・仕事の話は来るものの、いずれも利幅が極めて小さい。
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・12月は前月に引き続きキャンペーン中で、チラシでの集客を毎週行っており、年末商戦とあいまっての販売増を期待したが、平日の来店客数及び販売台数は依然厳しかった。週末に販売数が集中し、携帯販売も取替え台数は伸びたが、新規は伸び悩んだ。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・暖冬の影響で客足が伸びている。
	競馬場（職員）	単価の動き	・入場客数、購買単価はまだまだ減少傾向にある。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・日常的な食料品、衣料はまだいいが、おしゃれ用の買回り品などは悪い。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街全体で歳末セールをやっているが、師走のムードが感じられず、来街客数が激減している。また暖冬のため重衣料の販売量が伸び悩んでいる。
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・青果物に関しては、台風明けの野菜価格高騰の影響で、相場的には安値感が強いにもかかわらず客は高値のイメージを引っ張っており、かなり動きが悪い。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客は金がないわけではないのだろうが、消費に積極的ではない。クリアランス待ちもあるようであり、気温が下がっても重衣料が動かない。

	スーパー（店長）	販売量の動き	・暖冬のためか、暖房用品、家電用品等の動きが悪く、生鮮食品においても鍋物商材の動きが全くない。かなり商品の動きが悪くなっている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・年末商戦が不調である。暖冬の影響で前月に続き婦人服の重衣料等単価の高いものが例年に比べて出ていない。高額のインポートブランドの売上也著しく落ちている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ数年下落していた1品単価は上昇気味であるが、買上点数がこのところずっと前年比90%を割っている。今月も同88%である。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・消費の二極化が進んでいる。高額商品と低価格商品の動きが良い一方、中間の価格の商品の売上が少ない。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・全体的に年末らしいにぎわいがなく、一品単価が下落しているにもかかわらず、販売量がさほど増えていない。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・一部の金を持っている客は車を購入するが、大多数の中間層は就職もままならず、リストラもあり、車が購入できる状況ではない。
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・例年でも12月は大家家具の動きが悪い月であるが、今年は特に悪い。来客数も少ない。
	住関連専門店（総務担当）	単価の動き	・暖冬により暖房用品に関する販売が少ない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年であればこの時期は1年で最も忙しく、売上も良い時期なのだが、今年は伸び悩んだ。1日の来客数に落差があり、平均すると減少していた。
	旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・年末年始の家族旅行の申込が悪い。例年では、正月の宿泊施設の予約はキャンセル待ちでなかなか取れなかったが、今年は空室が出たりしている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会が毎年縮小傾向にあり、2次会、3次会に出る客がかなり少なくなっている。タクシーを利用しないので、11時過ぎのバス、電車は満員である。今月の売上はかなり落ちている。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・例年であれば年末は売上が上がるのだが、今年は販売額、入場者、購入単価のいずれも落ち込んでいる。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き
			・商店街の飲食店では忘年会が非常に少ないようである。単価もものすごく下がっている。 ・クリスマスケーキ、生もちと際物の二大イベントがあったが、いずれも前年割れとなった。量販店は前年比1.2%減、コンビニエンスストアは同8.6%減、ローカルスーパーは同2.1%減となかなか前年実績を上回ることができない。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き
	変わらない	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き
		窯業・土石製品製造業（取締役）	取引先の様子
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
			・暖冬で12月需要に少し弱さがあったが、それでも主要輸入国からの牛肉輸入がほとんどないため、国産牛の引き合いは強い。加工食品の原料調達がうまくいわず多少ロスもあるが、全体的には好調である。 ・小口の見積依頼が多くなってきている。受注件数は増えているが、受注額は増えていない。 ・12月に入り案件の引き合い、受注が従来に比べ若干活発化し、ここ2～3か月の不振を多少カバーした。 ・当初、台風の影響による品不足から高かった価格も、現在は例年並みに落ち着いている。ただし全体的に収量の伸びは今一で、若苗の時に受けた台風の影響が徐々に始めている。 ・今月の受注状況は前年比130%であった。特に大型物件があったわけではなく、平均単価も変わらないので受注量が増えたようである。ただし全般的な動きがおう盛ということではなく、12月のみの動きにとどまる。 ・前年並みのあまり良くない状況で推移している。一部の業種では良いところもあるが、全体的な経済の流れとしては上昇ではなく、むしろ少し下降気味である。 ・取引先の中でも自動車関連の金型はそこそこ動いているが、他の金型の動きは鈍化している。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・減産体制とコストダウンが始まると覚悟していたが、今のところ発生していない。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・来年の税制改正や中越地震、スマトラ沖地震が影響している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末で大量に荷が動くはずであったが、物が売れない上に問屋、二次店ともあまり商品を購入せず、倉庫から物が出て行かない。通常、物が出て行かないならば車は余るはずであるが、車の手配もできない。もうけていないために運送会社が車を減らしており、苦しい状況である。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・飲食店をはじめ、小売業全般の売上が前年に比べ減少している。新たな運転資金の資金需要も見受けられない。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が乏しい。中小企業の業況はさほど改善していない。
	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・12月の受注件数が前年比106%と持ち直してきた。ただし3か月前に比べるとほとんど伸びがなく、受注状況は安定している。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・暖冬により、業種によってはプラスになっているところも若干あるようだが、ほとんどのところでは販売量が減っているという話を聞く。
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・例年に比べ悪い。受注も少なくなっており、メーカーも早く休むような状況である。商社の中には20日を過ぎると商品を引き取らないところも出ているほか、月後半は台風や地震の影響で商品が停滞し、厳しくなった。
悪くなっている	繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・企業の倒産や閉鎖がまた出ている。中国で商売をしている企業も経営の状況が非常に悪いようである。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社が抱えるプロジェクトのスケジュールがずれ込んでいるためでもあるが、受注量が減少した。当面の需要が落ち込み販売価格にも影響が出てきている。遅れた物件が果たして予定通り浮上するのかについても、不透明感がある。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・リードフレーム関係の大手半導体メーカーの動きが非常に鈍い。また金型関係も全般的に非常に冷え込んでおり、受注量が急速に減少している。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・今までは芋焼酎が前年比130%以上の伸びとなっていたが、12月に入り、特に東京、大阪において前年を割る小売店が現れ始めた。
雇用関連	良く なっている	-	-
やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・企業が求める人材のレベルが上がっており、企業への請求価格も上昇している。人材派遣会社としては、企業側の要望に対して良い人材を供給することが難しい状況である。また、景況感より先んじて先行投資する会社も増えている。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・10月以降の求人数が、前年比130%以上まで急増しており、職種によっては供給が追いつかない状況もみられる。九州域内では、エレクトロニクス・半導体、自動車、鉄鋼関連の設備投資、大量の人材を必要とするコールセンターの開設等、プラス材料が近年に多く多い。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞広告費等、企業の広告宣伝費も厳しい状況だが、大きく減らすことはなく、ほぼ前年並みを維持するところが多い。
	職業安定所（職員）	それ以外	・求人数は増加しているものの、就労場所が県外という求人が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数そのものは以前に比べて伸びが鈍くなっているが、採用の成約件数は低下しておらず、採用意欲は衰えていない。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パート求人が全求人約3割を占める等、非正社員化の促進がみられ、正社員の需要が依然として少ない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は堅調に推移しているが、求職者のニーズの高い常用求人、直接雇用求人があまり増加していない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は若干減少しているものの、パートや臨時職員を除く常用求人は横ばいである。

やや悪く なっている			
悪く なっている	-	-	-